

「実務家から見た固定資産税制度」

—シンポジウムのご案内—

日経新聞 3月29日の記事によれば、上場不動産投資信託のうち、53社中15社（約28.3%）が固定資産税の還付を受けたことが報じられています。

その後、4月13日には、建物の課税評価を迅速にという記事で、東京都が評価方法を見直すことが報じられています。

また、週刊エコノミストは6月7日号で、“固定資産税を取り戻せ。全国で相次ぐ徴収ミス”の33ページに渡る特集記事を発表しています。

更に、週刊現代8月6日号では、“あなたは払いすぎていませんか？～ひと目でわかる～「固定資産税」”の記事が掲載され、社会問題化しつつあります。

資産評価政策学会では、この9月10日（土）に水道橋の日本大学経済学部7号館で、午後2時30分から、不動産鑑定士、一級建築士等の実務家を中心とする公開シンポジウムが開かれることになりました。

http://www.japap.org/event/soukai_h28.html

詳細は以下の通り、基調講演も含めて、参加無料ですので、是非お越しください。

《資産評価政策学会シンポジウム》

- 開催年月日 平成28年9月10日（土） 午後2時30分～5時30分
- 参加費 無料
- 開催場所 日本大学経済学部7号館2階講堂 （千代田区神田三崎町2-8）
- ☆懇親会 日本大学経済学部7号館14階
午後6時～7時30分 参加費5,000円/人

一、基調講演 （午後2時30分～3時15分）

（仮題）判例から見た固定資産税制度

吉田 修平 氏 （弁護士 吉田修平弁護士事務所代表）

二、シンポジウム （3時30分～5時30分）

（仮題）実務家から見た固定資産税制度の問題点

（1）コーディネーター

福井 秀夫 氏 （政策研究大学院大学 教授）

（2）パネラー

桐山友一氏 （週刊エコノミスト固定資産税特集担当記者）

池田 哲夫 氏 （公財）東京税務協会（非常勤）

元東京都固定資産評価専門副参事

堀川 裕巳 氏 北央鑑定サービス（株）代表取締役 不動産鑑定士

佐藤 政昭 氏 （株）建物鑑定 代表取締役 一級建築士